

研究部会主催

令和6年度 第2回公開研究会のご案内

日時：令和7年3月22日（土）午後1時30分開始～4時30分終了予定

会場：東京学芸大学附属竹早小学校 ランチルーム 対面・オンライン複合型

参加方法：

- ① 対面・オンライン参加ともに、右のQRコードから、事前にお申し込みください。会員以外の方でも参加可能です。



- ② 定員 対面は先着50名 オンラインは先着150名とします。
- ③ 申し込み〆切 令和7年3月15日（土）

- ④ メール受信設定のお願い

【オンライン参加の方】研究会前日までに、登録いただいたアドレスに、招待URL、ミーティングID、パスコードを送信します。takasumi@u-gakugei.ac.jp（高須）からのメールを受信できるように設定をお願いします。

【対面参加の方】研究会前日までに、登録いただいたアドレスに、会場に関する情報を送信します。takasumi@u-gakugei.ac.jp（高須）からのメールを受信できるように設定をお願いします。

- ⑤ 本研究会に関するお問い合わせは takasumi@u-gakugei.ac.jp（高須）まで

研究主題：ことばの学び手が生成する「問い」のあり方を考える

—学びが主体化・協働化・深化する要件—

内容：学び手の問いが育つために、教師はどうあるべきか：二つの実践報告をもとにして

- I 研究主題の趣旨説明 研究部長 藤森 裕治
 - II 実践報告①「第1回新堀小ポップ大賞」 ～宮沢賢治作品のオノマトペ～
小川 祐太郎(埼玉大学附属小学校)
 - III 実践報告②「問いを使って学ぶ『少年の日の思い出』」
秋田 哲郎(筑波大学附属中学校)
 - IV コメンテーターによる解説 森田 香緒里(文教大学)
 - V 質疑応答と協議
 - VI 講評 本学会理事長 甲斐 雄一郎
 - VII 総括と展望 本学会会長 桑原 隆
- 司会 青山 由紀 (筑波大学附属小学校)

参加費：無料